

水道料金 値下げを真剣に検討

大家市長 3月議会で言明

大家市長は3月8日、3月議会本会議で「6月には水道料金を下げられないか、真剣に検討したい」と言明しました。

県企業局から上水道用水の供給を受けている県西部の自治体のうち、水道料金の値下げについて「今年6月」という時期を言明したのは小矢部市が初めて。これが実現すれば小矢部市にとっても史上初の値下げになります。

市民運動が市政を動かす

市民の声、市民の力、市民運動で「政治は動かすことができる」ことを示すものです。「水道料金の値下げを求める市民の会」では値下げを確実に実現するために引き続き署名運動を続けることにしています。

市民とともに署名運動

日本共産党の砂田喜昭市議は、



市長に値下げ署名を手渡す市民の会代表

市議会で長年にわたって水道料の値下げを求めるとともに、市民のみならずといつしよに、一軒一軒訪問し署名を集め、市民運動の発展に尽力しました。

市民の願い実現に一番頼りになるのは

日本共産党の一議席

今年8月6日投票で市議選がたたかわれます。今年8月6日投票で市議選がたたかわれます。

日本共産党の砂田喜昭市議はこれまで20年間、市民の願い、要望をまっすぐ受け止め、議会で道理を説いて実現を迫り、市民とともに住民運動に取り組んで数々の実績を上げてきました。日本共産党と砂田市議

県と直接交渉し 値下げを実現

小矢部市の水道料金が県下一、二を争うくらいに高いのは、県から子撫川ダムの高い上水道用水を必要以上に買わされているからです。

「市民の会」や共産党、砂田市議はこれまで繰り返し、県水の単価、責任受水量の削減を県当局と直接交渉してきました。その結果県は2年前に1トンあたり5円値下げしたのに続き、今年もさらに5円値下げしました。

昨年暮れに行った市民団体と県企業局との交渉の席で、県は初めて「県水の単価引き下げは水道料金の東西格差是正のためだ」と認めました。

今年2月の市上水道審議会は、初めて市民に傍聴を認めただなかで開かれ、各委員から水道料金の「東西格差」是正を求める発言が相次ぎ、審議会議長が「あらゆる努力で水道料金値下げを」とまとめる発言をしました。

行政ミス

子撫川ダムの固定資産税 2億円超

23年間も取り忘れ

一市民の指摘がきっかけで、是正

水道料金値下げ運動のなかで一市民の指摘がきっかけとなり、市が県から子撫川ダムの固定資産税（国有資産等所在市町村交付金）を23年間にわたって2億2千8百万円も取り損ねていた問題も明らかになり、5年分5889万円を取り戻し、今後毎年約1400万円入ることになりました。

学童保育

今年から定員増に

放課後児童を預かる学童保育に希望が増え、今年から大谷小学校、石動小学校で施設を増改築し、定員を30名増やし140名とすることにしました。共産党のアンケート活動がきっかけで砂田市議に届いた1通のメールに込められた切実な願いにこたえ、新日本婦人の会のみなさんと市役所交渉をし、さらに昨年3月議会、6月議会と繰り返し定員増を求めてきたことが実ったものです。

ひろば

日本人VS外国人のテーマで話し合った時のこと。背が高いとか低いとか、肌の色がどうのこうのと話し合っているうち、一人の子ど

もが、きっぱりとこう言いました。日本人は、戦争をしません。「一瞬、反論を考へるためか、全員しーんとなったのですが、そうだよほうりつで決まってるんだから。」というつぶやきが聞こえました。もちろん、外国人「派からは反論が出ず、論点は別の方向へ進みまし

た▼日本人は、戦争をしません。」「全く、当たり前のこととして信じて疑われない子どもたちのこの感覚に心の底から感動を覚えま

した。そうだった。誇りをもって、世界に向かって高らかに宣言できるのが日本の法律だったと▼子どもたちのこの大人に対する信頼に、しつかり応えなければならぬ。物事は、話し合いで解決していくんだと、再三教え、日本は絶対に戦争はしませんと世界に誓ったから、法律にしたんだと憲法記念日にも教えてきたはずでした▼子どもたちは、いつも真剣です。誠実に教師の話聞き、いろんな寄り道はありつつも、誠実に大人に伝えようとする純真な存在です。この子どもたちにまともな法律を、命を真ん中に据えた世の中を手渡していかなければ、改めて心に誓った機会でした▼子どもの成長にかけ、手間、お金、誠実さ、どんなことでもムダなことはありません。だが、35人学級を行政のムダのひとつだと、とつとつ撤回してしまつた小泉内閣の感覚とは何なんでしょう▼ひとりひとりの子ども

の気持ちに、ていねいに寄り添う行政をつくるのが、今こそ求められていると実感します。

医療費助成制度の拡充を

小泉自民・公明政権の「医療改革」で高齢者の医療費負担が増やされ、保険のきかない診療(混合診療)が増やされようとしています。「お金がないものはよい医療を受けられない」という深刻な格差社会に突き進もうとしています。

国の悪政にストッパーをかけるとともに、県や市で行っている医療費助成制度の充実がいよいよ重要になってきます。ところが富山県の石井知事は県単独医療費助成制度を削減しようと狙っています。砂田市議は3月議会で、市の医療費助成制度の拡充を求めました。

小泉「医療改革」は医療格差を持ち込む。反対の意思表示を!

民生部長 地方医療財源確保は重要であり、国や県の財政支援措置がぜひとも必要である。今後とも全国市長会を通じて要望していく。

県単独医療費助成制度 県に維持の要請を

民生部次長 十分な議論をふま

えて、よりよい医療費助成制度となるよう、働きかけたい。

乳幼児医療費 窓口無料制度

小学生全体へ拡大を

◆小学3年生までには2400万円必要
◆小学終了時までには5000万円必要

民生部次長 たいへん厳しい財政状況であるので、県の医療費助成制度の動向、他市の状況を見ながら検討したい。

北陸中央病院の医師確保 市も大学などへ 直接働きかけを

民生部長 今後とも北陸中央病院との連携を密にしながら、対応して参りたい。

少子化対策

出生率を向上させたスウェーデンでは、法律で父親にも育児休暇を取ることを強制しています(母親60日と父親60日プラス父母どちらか360日)。

育児休暇の有り無しで 子どもの出生に 3倍の開き

厚生労働省の調査でも、妻

育児休暇が有効

の開きがあります。このことから育児休暇が少子化対策に大変有効な施策であることが言えます。(第3回21世紀成年者縦断調査―国民の生活に関する継続調査)

市が率先して改善を

ところが現在、市の給与体系では、育児休暇で差別され、休暇を取った職員の昇給は、とらない職員に抑えられています。これでは子育てが奨励されるとは言えません。市役所が率先して改善し、社会全体にひろげることが望まれます。

北陸線は

JRの責任で運行を

① 在来線を県境分離しないこと

② 特急電車を金沢止まりとしないこと

砂田市議は「新幹線建設に伴い在来線をJRから経営分離するとの政府与党合意を見直し、在来線の経営はJRに責任を持たせるべきだ」と予算特別委員会でも主張しました。

さらに在来線の経営のあり方について、市として主張すべき点として、次の二点を質しました。

金沢との交流があり関係の深い小矢部市として、第三セクター鉄道は石川県、富山県と分けてそれぞれ別会社で経営するのではなく、両県一体の経営で行うよう要求すべきでないか

当局は「そういう方法論も当然協議すべきだろうが、乗降客の動向調査も行っており、どういう方法がふさわしいか、見極める必要がある」と答えました。

新幹線の開業後、関西方面の特急電車が金沢止まりになつたら富山県としてはたいへん困る。そうならないように主張して欲しい。」

当局は「小矢部市としても、特急電車が金沢で止まってしまわないように主張していきたい」と答えました。

合併処理浄化槽

清掃料金

標準は 5万円前後

砂田市議は、「合併処理浄化槽の清掃料金が11万円請求された。高すぎるのではないか」「金沢のある業者の清掃料金を調べると、7

人槽で56393円だった。」とたたきました。

当局は「浄化槽の清掃料金は市が決めるものでないが、県環境保全協同組合の標準価格以下になるよう指導してい

きたい」と答えました。また「清掃の状況などにより標準価格より高くなる場合もあるかも知れないが、その場合にはこういう訳で高くなると説明するのがルールだ」と述べました。さらに「近隣市町村の清掃料金の実態も調査してみたい」と答えました。

市長退職金を廃止せよ

かっよくやれんが 差し控える 大家市長

小矢部市は行財政改革を理由に今年度各種補助金を3661万7千円削減します。にもかかわらず市長退職金に指一本触れようとしなのは納得できません。

市長退職金は約1億円

大家市長は今年の任期満了時(12月6日)に、いったん5期20年分の退職金を受け取るようになります。その金額は9765万円。市職員が一生働いて定年退職時に受け取る退職金2400万円の4倍以上です。この原資は市民の税金です。富山県市町村総合

事務組合に毎年退職金のための積み立てをしており、この20年間に市長退職金分として積み立てた総額は7317万1千円です。

砂田市議は予算特別委員会、中沖前知事退職金裁判をたたかっている市民の気持ちを紹介しながら、「市長退職金を廃止するつもりはないか」とた

だしました。大家市長は、「かっよくやりたいが、それをやると日本列島全部に影響するので、差し控える」と答えるにとどまりました。

